

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1年	2	必修
担当教員			
河合 博子			
授業のねらい（概要）	本演習では、近年の高度な情報技術（人工知能、ブロックチェーン、ロボット、AR/VR/SR、スマートフォン、IoT等）のビジネス（金融・証券・流通・情報管理、その他）や教育、観光や行政等への応用やイノベーションに関連するテーマに基づき、修士論文を作成するために必要な基礎知識を修得し、自らが設定した研究プロジェクトを管理し、遂行できる力を養成することを目的とする。 前期は、研究論文作成に不可欠な、研究計画書の書き方や研究方法、分析方法について学ぶ。後期は、自身の研究テーマを設定した上で、修得した研究方法論を実践にいかしていく。		
授業計画	<p>第1回                   オリエンテーション</p> <p>前期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究倫理教育</li> <li>・研究計画の立案・研究計画書の書き方</li> <li>・文献・資料検索－資料・情報収集について</li> <li>・研究方法の基礎</li> <li>・分析方法の基礎</li> </ul> <p>後期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究テーマの決定</li> <li>・研究プロジェクトの計画立案・計画書の作成</li> <li>・研究成果中間報告</li> </ul> <p>各回予習と復習</p> <p>予習（時間）：授業計画の各項目・目標に対して、事前に配布された資料等を読み、レジュメやプレゼンテーションの準備を十分に行うこと。（120） 復習（時間）：研究や調査で、実践・確認したことは、直ちに十分復習を行い、文書にまとめるように心がけること。（120）</p>		
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	DP「一般的及び専門的教養の基礎の上に、構造的システマ的分析能力」「実践的な問題解決能力及び管理運営能力を養い、知識基盤社会を支える高度で知的な素養」の修得を目指す。		
到達目標	特別演習 I では、修士論文のテーマの決定から、修士論文（約3割）の作成と中間発表を目標とする。具体的には、 (1) 修士論文のテーマの設定とその学修計画を立て実行できる。 (2) 問題把握を行いその解決能力を身につけられる。 (3) 資料の収集・整理と読み込み能力を身につけられる。 (4) 専門的な論文の作成（約3割/16000字程度）を行うことができる。 (5) 学内中間発表での発表だけでなく、可能なら学会で発表することができる。		
課題や小テスト等のフィードバックの方法	レポート、発表資料、論文ドラフトの注意点を授業内にフィードバックする。		
履修上の注意	毎回進捗状況の確認をしますので、欠席のないようにしてください。研究や調査、報告で受けたコメント、フィードバック事項は、直ちに十分に復習を行い、その内容を文書にまとめるようにしてください。		
成績評価の方法・基準	特別演習の研究報告を中心とした平常の取り組み（文献調査、研究計画、文献要約、先行研究要約、企業調査、又は実験等）（50%）。および、研究テーマに基づいた学会発表または学内中間発表の原稿内容・発表・質疑応答の状況（50%）から総合的に評価する。		
教科書	必要に応じて電子教材、課題プリントを配布する。		
参考書・教材	【参考書】必要に応じて紹介する。【教材】桑田てるみ編『学生のレポート・論文作成トレーニング改訂版スキルを学ぶ21のワーク』実業出版 2015年 1296円 ISBN-10: 4407336145 ISBN-13: 978-4407336146		
備考	演習科目		
教員との連絡方法	Mellyを使用する。		